

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

② 施設・事業所情報

名称： りんどう保育園	種別： 児童分野 認可保育所	
代表者氏名： 園長 竹田美知子	定員（利用人数）： 80 名	
所在地： 〒227-0047 横浜市青葉区みだけ台32-19		
TEL： . 045-971-3829	ホームページ： http://rindou-hoikuen.com	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 1975年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 祥泉福祉会		
職員数	常勤職員： 16 名 非常勤職員 14 名	
専門職員	園長 1名	事務員 4名
	保育士 21名	
	栄養士 4名	
施設・設備の概要	(居室数) 5 (設備等) 事務室、厨房、乳・幼児トイレ、調乳室、沐浴室、遊戯室、医務室、更衣室など	

③ 理念・基本方針

理念
・子育てと就労の両立を支援・職員の資質向上・施設環境整備・安全安心できる保育園の徹底に努める
・子ども1人1人の人権や主体性を尊重し心豊かに生きる力を育む
・保育所の機能と専門性を活かし地域における子育て支援に積極的に参加する
方針
・季節ごとに色々な行事を日常保育の活動として取り入れながら乳幼児期の自発的な活動としての遊びを通して思いやりや育とうとする力を伸ばしていく保育

④ 施設・事業所の特徴的な取組

・季節ごとに色々な行事を日常の活動を取り入れ、色々な経験が出来るように様々な物事に興味、関心もてる力を養います（英語・体操・陶芸・造形・食育等）。
・広い園庭で伸び伸びと活発な充実した活動を行います。（緑多い園庭での自然（落ち葉・木々の色移り・木の実）を感じる、虫との触れ合い、ルールのある活動等）
・隣接する老人ホームと体操等を通しての触れ合いを行います
・隣接するお寺に行き、花まつり・彼岸会・成道会・節分会・涅槃会にはお経を聞いたり、お焼香の仕方を学んだりします。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月17日（契約日） ～ 2022 年11月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2017 年度）

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

【特長】

◆子どもは豊かな遊びを通してのびのびと育てられ、保育園生活を楽しんでいます
園は、子どものやりたい気持ちを尊重した保育を行っていて、子どもがなにをしたいのかを優先して活動を行っています。緑豊かな四季の自然を感じる園庭で子どもたちは天気が良ければ毎日、幼児は午後も外遊びを取り入れています。幼児クラスは、朝の会を済ませると園庭で一列に並んで保育士の話を聞いて、一斉に好きな遊びに広がります。鬼ごっこをしようと保育士を誘う声が聞かれ、保育士も全速力で追いかけます。「見て、見て」とカマキリをみんなに見せる子どもやゴーヤのトンネルではダンゴムシを探す子どもがいます。鉄棒やジャングルジムにのぼる時は保育士が見守っています。幼児は自分のしたい遊びをじっくり取り組んだり、友だちを誘ってボールで遊ぶ姿が見られます。乳児には保育士が「何がしたい？」と声をかけ、誘ったりシャボン玉を見せるなど働きかけています。

保育室では、自分で選んで遊べるよう手に届くところに玩具が置かれ、発達に応じて種類や環境を変えています。また、制作では、秋にちなんだ作品をクラス毎に制作するほか、折り紙や廃材などを自由に使って制作している姿が見られます。保育士は、日々の保育の中、様々な場面で子どもが発言する機会を作り、段々と自分の気持ちを話せるよう援助しています。さらに、5歳児クラスは子どもの意見箱があり、子どもの意見を反映した活動ができるよう工夫しています。この様な子どもの主体性を育む保育環境の中、

職員は、子どもたち寄り添い、見守り、成長に導くよう援助しています。

◆理念に基づく保育を職員間で共通認識を持って行えるよう努めています

園長は、子どもたちが、「自分で生きぬく力」を持って欲しいと願っています。その為には「子どもが自分のやりたいことをやる。自分の気持ちを相手に伝える」を大切にと職員に伝えていきます。日常の会話の中でも、「保育士が子どものために良いと思う保育と子どもが望む活動はなにか」と問いを投げかけ、話し合いの機会を作って認識を深めています。理念の「子ども1人1人の人権や主体性を尊重し心豊かに生きる力を育む」を基に職員間で共通認識を持って保育を実施することができるよう努めています。利用者家族アンケートでも、「職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応している」の高評価を得ています。

【今後期待される点】

◆中長期計画に基づいた単年度事業計画の策定が望まれます

中・長期計画を策定していません。園の理念・基本方針の実現に向けた目標を明確にし、目標に対して保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等の課題や問題点を組織として明らかにし、目標を達成するため、具体的な中・長期計画の策定が望まれます。さらに、中・長期計画を反映した具体的で実行可能な単年度の事業計画の策定と見直しをするための体制作りが望まれます。

◆公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が望まれます

園は、理事会・幹事会・評議会で事業報告・会計報告はされていますが、内部監査や外部の専門家による監査・指導は実施されていません。事業経営・運営におけるチェック体制を確立するためにも、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得る事や、内部監査を実施することで定期的に事業経営・運営の適正化を確保する取組が望

まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

福祉サービスの基本方針と組織の分野の項目内容が難しく、また、同じような言い回しも多く、解答に困るという職員の意見が多くありました。

調査された内容を実際の運営・保育にどのように結びつけていけば良いのか。
また毎日忙しく保育をしている職員全員に調査結果を理解、周知させ、共通認識させるための時間を作る方法、保育に影響なく、かつ職員の負担にならず時間をつくる方法等の具体例を示してもらいたいと感じました。

この評価が本当の意味での評価に繋がっていくのか、少し疑問に感じます。
保育の質の向上を図るように努力している園の立場を理解してもらえるような調査になる事を願います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり